

東北地方 1か月予報

(1月25日から2月24日までの天候見通し)

平成15年1月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

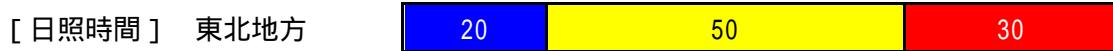
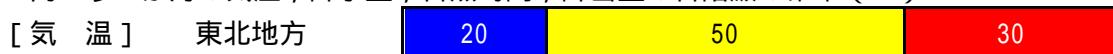
冬型の気圧配置となる日が多いですが、2週目を中心に冬型が緩むでしょう。

平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か高い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月25日(土)～2月24日(月)

1週目 : 1月25日(土)～1月31日(金)

2週目 : 2月1日(土)～2月7日(金)

3～4週目 : 2月8日(土)～2月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は1月31日

3か月予報：2月20日(木)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.6	56.1	156.6	31	0.1	0.3	0.9
新庄	-1.2	164.1	56.4	-----	-1.7	-1.6	-1.0
若松	-0.7	75.0	101.4	131	-1.2	-1.0	-0.4
深浦	-0.6	84.2	47.6	80	-1.1	-0.9	-0.3
青森	-1.5	133.5	74.4	260	-2.0	-1.8	-1.2
むつ	-1.8	92.2	95.5	-----	-2.2	-2.2	-1.6
八戸	-1.2	56.3	143.9	62	-1.8	-1.6	-1.0
秋田	-0.1	100.1	64.9	101	-0.7	-0.5	0.1
盛岡	-2.0	55.1	139.8	62	-2.6	-2.4	-1.6
宮古	0.0	77.9	168.9	44	-0.5	-0.4	0.2
酒田	1.2	128.9	58.6	75	0.8	0.9	1.4
山形	-0.5	74.9	104.0	108	-1.0	-0.9	-0.2
仙台	1.4	46.9	166.1	31	0.9	1.0	1.8
石巻	0.6	42.5	180.3	22	-0.1	0.2	0.9
福島	1.5	49.7	157.7	40	0.9	1.1	1.8
白河	0.2	37.5	170.1	-----	-0.4	-0.2	0.5
小名浜	3.5	58.7	194.9	0	3.0	3.1	3.7

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.6	79~107	95~104	78~111
東北日本海側	-0.3~+0.6	90~106	90~110	81~114
東北太平洋側	-0.3~+0.6	67~110	99~102	70~113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.9	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.9	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.7~+1.0	-0.5~+0.9	-0.4~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年1月24日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(1月25日~2月24日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、2週目を中心に冬型が緩むでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(1月25日~1月31日) :

27日頃に気圧の谷の影響で雨が降る見込みです。その他の日は強い冬型の気圧配置になる日が多く、東北日本海側では風雪が強く荒れた天気となるでしょう。東北太平洋側では沿岸部を中心に概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(2月1日~2月7日) :

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(2月8日~2月21日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

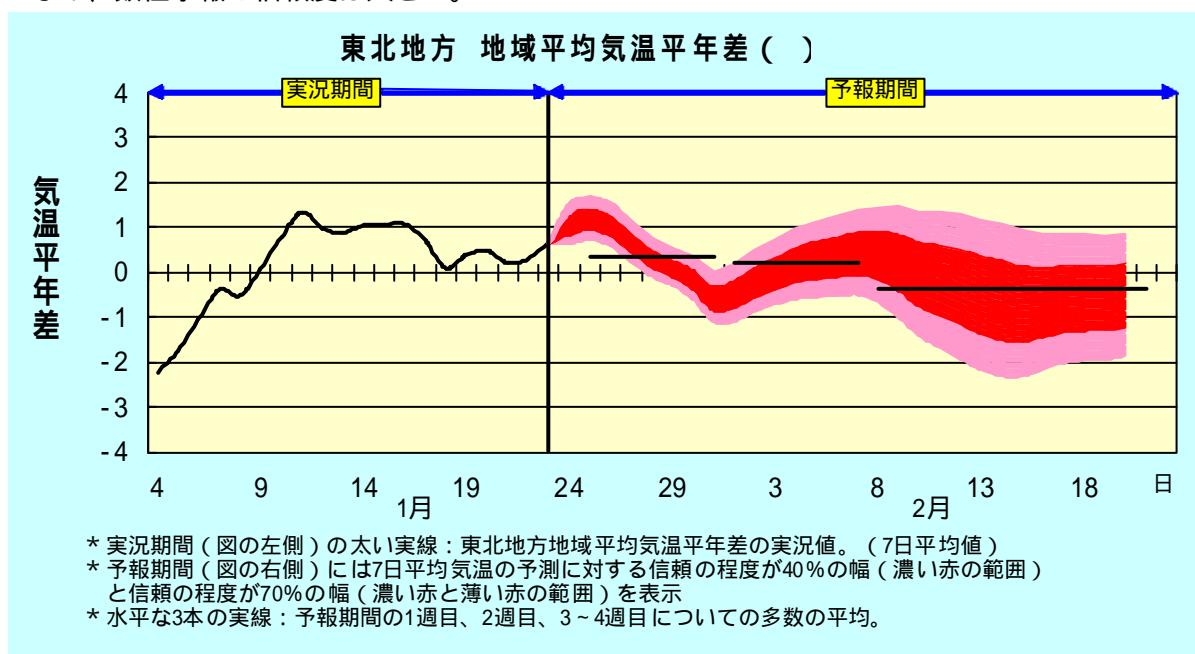
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.8日	1.3日	1.3日	3.2日
東北太平洋側	18.4日	4.9日	4.5日	9.0日

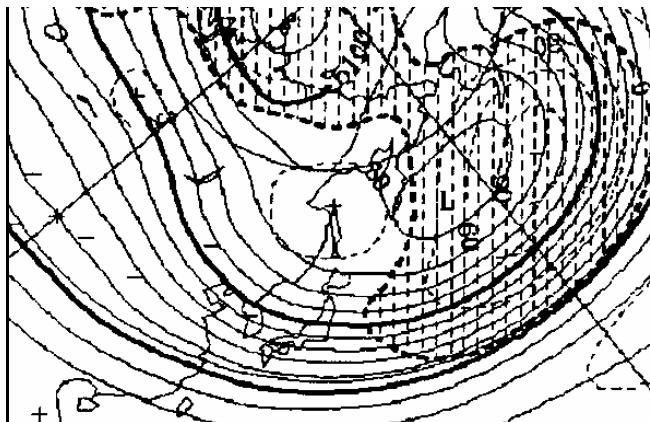
2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」とするほかは数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

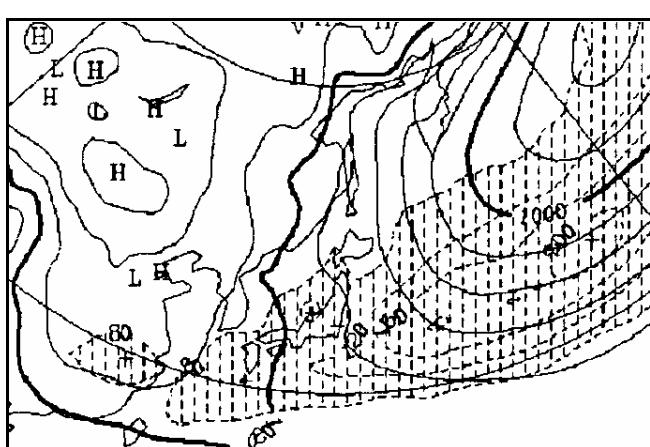


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、アリューシャン列島付近に寒冷低気圧があり、負偏差が日本の東海上まで覆う。一方、日本付近は、サハリン付近に中心を持つ正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1週目はアリューシャン列島の南から伸びる負偏差に本州以南が覆われる。2週目は、極域の負偏差が強まる。日本付近は沿海州に中心を持つ正偏差に覆われる。3~4週目は、極域の負偏差が弱まり、北海道に負偏差がかかるが、本州以南は正偏差に覆われる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 毎、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

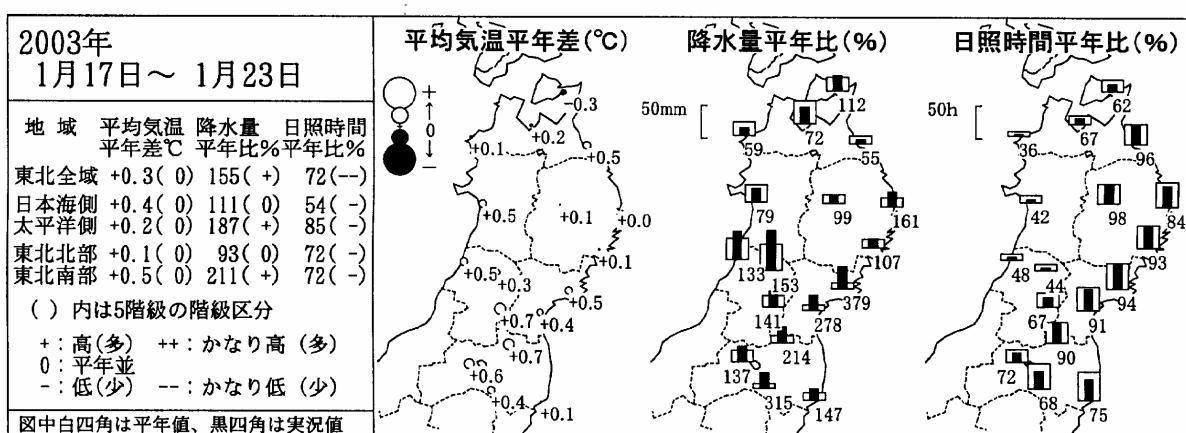
月平均で見ると、アリューシャンの低気圧は平年より東に位置しているが、日本付近は冬型の気圧配置で、日本海側を中心に降水域が予想される。

週別（図略）では、1週目は冬型の気圧配置だが、低気圧の影響を受ける時期がある予想。2週目は冬型の気圧配置が緩み、天気は概ね周期変化。3~4週目は、平年に近い冬型の気圧配置となり、日本海側に降水域が予想される。

4. 最近1週間（1月17日～1月23日）の天候の経過

23日に低気圧が発達しながら本州の太平洋岸に沿って北東進したため、東北太平洋側を中心に大雪となり、海上海岸では大荒れの天気となった。その他の日は冬型の気圧配置になることが多く、東北日本海側では曇りや雪または雨となり、東北太平洋側では概ね晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差+0.3℃と平年並だった。降水量は、東北北部で平年比93%と平年並、東北南部で平年比211%と多かった。日照時間は、東北地方で平年比72%とかなり少なかつた。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）